

福田 雅樹
法学研究科・教授

【研究】

AIネットワーク化(AIシステムがインターネット等情報通信ネットワークと接続され、他のシステムと連携させて利活用されるようになる事象)の進展により社会にもたらされ得る恵沢の拡大及びリスクに伴う不利益の抑制に向けた法的課題に関する研究に注力し、共編著書1冊(筆者が編者代表)及び単著論文2篇を公表したほか、学会等の研究会における報告4件及びパネルディスカッション1件、日本学術会議公開シンポジウムにおける基調講演1件及びパネルディスカッション1件並びにセミナーにおける講演2件に登壇した。

【教育】

法学部の「法政基礎セミナー」を担当したほか、大学院高等司法研究科の「特殊講義C(高度情報通信社会における知的財産戦略論)」「オムニバス科目。全15回のうち3回を担当。)及び大学院法学研究科の「地方自治演習」(論文指導科目。履修者のうち1人を担当。)を分担した。

【管理運営】

法学部及び大学院法学研究科が内閣官房内閣人事局の職員を招いて開催した「国家公務員の仕事内容ガイダンスー内閣人事局特別講演会ー」に関し、その企画・運営、同局等との調整等に携わったほか、法学研究科附属法政実務連携センターが主催等する説明会等に関する説明担当者との調整等に携わった。

【社会貢献】

情報通信学会編集委員会副委員長、同学会AIネットワーク法・政策研究会主査、同学会情報通信経済法学研究会幹事、理化学研究所客員主管研究員、総務省情報通信政策研究所特別研究員、同研究所情報通信法学研究会構成員及び同研究所AIネットワーク社会推進会議構成員を務めている。

平成29年7月までAIネットワーク社会推進会議の事務局の責任者を務めた。同月に公表された同会議の報告書(筆者が起草の責任者)は、G7情報通信・産業大臣会合等において参照された。

日本学術会議公開シンポジウムにおける基調講演1件及びパネルディスカッション1件、セミナーにおける講演2件(【研究】の再掲)並びに研修のための講義1件に登壇した。